

## 第 130 回 国立大学法人新潟大学経営協議会 議事概要

- 1 日 時 令和 5 年 11 月 29 日（水） 13 時 05 分～15 時 29 分
- 2 場 所 新潟大学駅南キャンパス ときめいと 講義室 A（Zoom 会議併用）
- 3 出席者 構成員 14 名：  
牛木学長，川端委員，坂本委員，澤村委員，末吉委員，西田委員，  
岩田委員，小田委員，佐久間委員，福田委員，三輪委員，森委員，  
（欠席：伊藤委員，片峰委員）  
オブザーバー：  
塚本理事，富田特命理事，田代監事，逸見監事

## 4 議事概要について

第 129 回（令和 5 年 9 月 22 日）の議事概要が確認された。

## 5 審議事項

## (1) 経営協議会から選出する監事候補者選考会議委員について

経営協議会から選出する監事候補者選考会議委員について，資料 1 に基づき投票及び審議が行われ，投票の結果，小田委員及び佐久間委員を監事候補者選考会議 2 号委員として選出することが承認された。

〔主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言〕

・なし

## (2) 就業規則等の一部改正について

就業規則等の一部改正について，資料 2 に基づき審議が行われ，原案のとおり承認された。

〔主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言〕

・なし

### (3) 新潟大学職員宿舎の運営方針について

新潟大学職員宿舎の運営方針について、資料3に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。

[主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言]

- ・前回の五十嵐キャンパス視察の際には、全体的にかなり老朽化している印象を受けた。本件については賛成であるが、ほかの職員宿舎も同様の状況であるか伺いたい。
- ・五十嵐地区については、西門脇の職員宿舎を廃止にして、新学生寮の建設予定地としている。また、旭町地区についても、西大畑住宅1号棟以外の職員宿舎を解体し、更地の状態となっている。
- ・資料の3ページ目の運営方針案に記載しているとおり、本学の職員宿舎としては五十嵐住宅3号棟及び西大畑住宅1号棟のみを継続使用することとしている。
- ・全体的に職員宿舎が老朽化しているので、これらの土地を何かに有効活用できると良いと思う。また、継続使用する宿舎もあるとのことではあるが、ほかの活用法についても検討しても良いと思う。
- ・西門脇の職員宿舎は学生寮として活用することは決まっているが、解体した西大畑の宿舎跡地の利用法はまだ決まっていない。まだ統一した見解がない状態であるが、どういう利用とするかについての議論は進めているところである。

## 6 報告事項

### (1) 令和5年度収入支出決算の見通しについて

與三野財務部長から令和5年度収入支出決算の見通しについて、資料4に基づき、報告があった。

[主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言]

- ・収支決算の見通しについては、おおむね予定どおりに進んでいるとのこと良かったと思う。資料3ページ目の目的積立金について、期末の目的積立金はどの程度になるか伺いたい。
- ・決算見込額としては、文部科学省からの承認を待っている目的積立金を含め20億2,300万円の収入を見込んでいる。支出については教育研究環境整備事業など8億3,800万円を見込んでお

り、差額である 11 億 8,500 万円が来年度に繰り越されると現時点では見込んでいる。

○・その差額が期首の残高にプラスされるということであるか。

■・期首の残高から支出したものを引いた残額が期末時の見込みということである。

## (2) 第 4 期中期財務推計について

與三野財務部長及び冨田特命理事から第 4 期中期財務推計について、資料 5-1 及び資料 5-2 に基づき、報告があった。

[主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言， ■：本学側の発言]

- ・資料 2 ページ目の大学セグメントの内容について、支出が増加することは必然的な流れだと思うが、それに対応するためには、外部資金を獲得していくしかないと思う。経費節減といっても限界があることを考えると、収入を増やすということが一番重要だと思う。また、令和 9 年度までの長期間の中で考えているとは思いますが、どのタイミングかは別にしても、規制緩和等も含め、国にアピールしていく必要もあると思う。新潟大学だけではなく、全国の国立大学も同じような状況だと思うので、全体として収入を増やしていく方法というものを考えていくことも大事であり、そちらの方にも力を入れていく必要があると思う。
- ・国立大学協会でも声明の公表や、議員等への働きかけなどを進めているが、なかなか動きがよくないようである。少なくとも第 4 期中の対応は困難であるということで、第 5 期になるタイミングで大きく変えられるかというところで国立大学協会としては色々な働きかけをしている段階だと思うが、そこまで耐えられるのかという心配もある。小規模な国立大学はもっと苦しい状態であると思う。
- ・本資料のような推計を経営協議会や評議会等でも確認してもらいながら、それをどう進めていくかも考えていかなければならないと思っている。外部資金を増やしていくという中で、現状の数値となっているので、もっと頑張らなければならぬと思う。なお、運営交付金が増額されない場合に、大学によっては学生納付金収入を増やして対応しようとしているところもあるようであるが、本学としては、間接経費や補助金等を獲得しながら乗り切っていくというところをまず進めることになると思う。
- ・昨今の生成系 AI の技術は、インターネット以上のインパクトがあると感じている。そういう意味で、人件費については、管理部門だけではなく教員も含めて、少数精鋭でいかにやっていける

かが重要になると思う。また、戦略的経費の中で、そういったデジタル教育などをしっかりと行い、職員全員が生成系AIを使えるように教育することもぜひ行ってほしいと思う。国立大学が社会のトップランナーとして進めていきながら、戦略的にそういったテクノロジーを活用していく方向にシフトしていけると良いと思う。今後の大学の方向性を中長期的に考える際には、そういったことも一つのキーになると思う。

### (3) 令和5年度資金運用状況（上半期分）について

### (4) 令和6年度医学部医学科の入学定員について

報告事項の(3)及び(4)については、口頭による説明は省略し、委員において資料6及び資料7を確認した。

[主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言， ■：本学側の発言]

・なし

## 7 意見交換

### (1) 「新潟大学イノベーション・commons」及び「カーボンニュートラルの実現に向けた施設整備計画」について

牛木学長から「新潟大学イノベーション・commons」及び「カーボンニュートラルの実現に向けた施設整備計画」について、参考資料1に基づき、説明があり、委員において意見交換がされた。

### (2) 学部改革及び大学院改革について

坂本理事及び末吉理事から学部改革及び大学院改革について、参考資料2-1，2-2に基づき、説明があり、委員において意見交換がされた。